

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

① 学校の現状や課題

<現状>

夜間定時制は、勤労青少年に教育の機会を提供するという初期の目的から、時代の変遷とともにその目的も変化してきている。小・中学校時代に多様な経験をした生徒や、就職後に高校卒業の資格が必要となり入学してくる生徒など、一人一人に異なった事情がある。そうしたことから、学習面、生活面、健康面できめ細かな指導や支援が求められている。

<課題>

上記のような現状を受けて、一人一人の抱えている状況や学力を見極めながら、実社会で通用する基礎学力をいかに身につけさせるか、キャリア教育を含めた進路指導の充実（卒業後の進路希望をいかに達成させるか）が大きな課題である。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

全体として県北地区の生徒数は減少していくものの、複雑化する社会状況を背景に、全日制への不適応等の理由から、定時制を希望する生徒は増加し、多様な生徒が入学してくるものと思われる。そのため、定時制の果たす役割は今後ますます大きくなっていくことが予想される。

③ 目指す方向性や学校像

県北地区の定時制基幹校として、大館鳳鳴高等学校に併設して、平成28年4月に開校することが決定した。生徒の多様なニーズに対応できるように、夜間部に加えて昼間部を設置し、生徒のライフスタイルに合わせて柔軟に学べる学校にしていく。

生徒一人一人の個性や感性、多様性を大切にしながら、「生きる力」すなわち自ら学び自ら考え（思考力）、主体的に判断し（判断力）、よりよく問題を解決し行動する力（表現力）を身につけさせ、将来社会人として自立できる生徒を育成する学校を目指す。

④ 5年間で達成を目指す具体的な目標

社会人として自立できる生徒の育成を目指し、キャリア教育を実践する。

- 1 社会人として必要な基礎的な知識を身に付けるため、漢字検定では卒業までに全員が入学時より2段階以上のレベルアップを目指す。
- 2 卒業までに、それぞれの能力に応じた情報関係の資格を取得する。（情報処理検定・ワープロ検定など）
- 3 社会人として必要なコミュニケーション能力を身に付ける。

具 体 的 な 取 り 組 み 等

学 習	基礎学力の定着	学び直しとして国語・数学・英語の基礎講座を設ける
	資格取得	各人のレベルに応じた漢字検定試験や情報関係の検定試験を積極的に受けさせる
体 験 活 動	コミュニケーション能力	コミュニケーション能力を育成するために、ソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施する
	趣味・特技	木工・陶芸・茶道・華道・料理・手芸等の体験学習を取り入れる
	ボランティア活動	人のために役立っているという自己有用感を持たせるために、ボランティア活動を積極的に取り入れる
	インターンシップ	全員にインターンシップを経験させる